

総務企画局

一般会計要求総額 4,797百万円
 (対前年度 +4.8%)
 特別会計要求総額 567百万円

要求に当たっての基本的な考え方

総務企画局は、多様化、複雑化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、情報化の推進や、行財政改革、人材育成など全庁的な総合調整機能を果たしていきます。

また、「緑の成長戦略」を実現するため「北九州市環境未来都市」及び「グリーンアジア国際戦略総合特区」を推進するとともに、「元気発進！北九州」プランの基本計画の見直しを検討します。

さらに平成25年度は、市制50周年という大きな節目の年を迎えるため、さまざまな記念事業を実施し、市民とともに市制50周年を祝い、未来につながる契機の年にします。

○新：新規事業 ○拡：拡充事業

「北九州市環境未来都市」及び「グリーンアジア国際戦略総合特区」の推進	・環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業	24百万円〔政策調整課〕
効率的で効果的な行政運営	○新・「元気発進！北九州」プラン見直し事業 ・行財政改革の推進 ○拡・全庁GIS（統合型GIS）構築運用事業 GIS：地図情報と他の情報を同時に利用・管理できるシステム	11百万円〔企画課〕 18百万円〔行政経営課〕 37百万円〔情報政策室〕
海外都市や周辺自治体との連携強化、多文化共生の推進	・東アジア（環黄海）経済交流推進機構推進事業 ○新・四都市交流連携事業	6百万円〔アジア交流課〕 10百万円〔政策調整課〕
市制50周年記念事業の実施	○拡・市制50周年記念事業 ○拡・（仮称）北九州シティマラソン開催事業 ○新・市制50周年記念・市民発電所建設事業	208百万円〔50周年推進室〕 165百万円〔50周年推進室〕 525百万円〔50周年推進室〕

「北九州市環境未来都市」及び「グリーンアジア国際戦略総合特区」の推進

環境未来都市・国際戦略総合特区推進事業

環境未来都市については「環境」と「超高齢化」に対応する未来のまちづくりに向けた検討と取組の実施、国際戦略総合特区については地域協議会の運営及び規制改革などに関して国との調整・協議を進めることで、「緑の成長戦略」の実現を目指します。

市制50周年記念事業の実施

市制50周年記念事業

平成25年2月10日に迎える市制50周年の節目の年を市民とともに祝い、これまでの50年を振り返るとともに、これからの50年を展望することで、未来へとつながる年にするため、さまざまな記念事業を展開していきます。

市制50周年記念・市民発電所建設事業

市制50周年記念事業として、市民と産業界と行政が一体となった“北九州市民発電所”（メガソーラー）を建設し、売電収入を活用した市民還元事業を行います。



結び合う ちから
未来へ 響きあう